

お金の悩みは

4マスで 考える

ファイナンシャルプランナー
山崎俊輔



- 物価上昇で生活を変える？ 変えない？
- 趣味の推し活か？ 節約すべきか？
- 賃貸のまま？ 家を買うべき？

サクッとわかる

お金と人生の最適解 Discover
ディスカバラー

	必要消費	欲望消費
満足度高	○	◎
満足度低	△	×

02

人生の決断を
迫られたときに

Introduction 068

01 転職したほうがいいのか
今の会社にとどまるか 072

02 結婚していい人かどうか
お金のポイントから見ると 076

03 結婚前に「お金」に対する
価値観を確認しているか 080



10	09	08	07	06	05	04
物件選びは近場か遠くか………	住宅ローンは変動か固定か 兄弟姉妹の有無にもよる………	家を買うかどうかは 永遠の難問に答えはあるか 賃貸のままか、持ち家か………	マッチングアプリの利用か 婚活するなら友人の紹介か おひとりさまでいるか どのように暮らしていくか………	お金と人生の面から考える おひとりさまでいるか どのよう	妊娠するかどうか お金と人生の面から考える おひとりさまでいるか どのよう	マナープランとしてのの 子どもをいつ産むか問題………
108	104	100	096	092	088	084

03

未来に向けて
備えておきたいこと

Introduction 116

01 物価はもっと上がる？
自分の生活はどうする？ 110

02 車はあえて買わない選択も。
シェア時代の節約を考える 122

03 副業すべきか
本業に集中するべきか 126



10	09	08	07	06	05	04
共働き正社員か、パートか 悩んだら考えておきたいこと	「老後に2000万円」の準備で まずすべき大切なこととは	仕事を辞めるべきか	親の介護が必要になったとき	親のお金を頼ってもいいか	贈与や相続で	住宅ローンの頭金は なぜ重要なのか
134	150	146	142	130	134	130
					子どもの学費準備問題 いつから始めるべきか	人生100年時代、リカレントや リスキリングをするかどうか

04

理解しておきたい
法律や制度

Introduction 160

01

「お金がないけど借金で今買う」は
なぜ、どのくらい損をするのか 164

02

メルिटが多いのは
現金かキャッシュレス決済か 168

03

巷にあふれるポイントやクーポン
何がお得で、どう利用すべきか 172



04

マイナンバーカードは
なぜ何万ポイントもくれるのか……

176

05

生命保険や自動車保険などの
保険には、なぜ入るのか……

180

06

ふるさと納税をするとき
考えておくべきポイント……

184

07

個人が投資をするなら
なぜ「投資信託」なのか……

188

08

iDeCoやNISAの
メリットはどこにあるのか……

192

09

iDeCoとNISA
始めるならどっちが先か……

196

10

日本の年金制度は
本当に破たんしないのか……

200

おわりに……

205

はじめに

お金の悩み、ありませんか？ ありますよね？

- ・ 普通にやりくりしているつもりでも、毎月給料前には残高がほぼゼロ……
- ・ 推しが愛しすぎて、お金がなかなか貯められない
- ・ 旅行に行ったり、おいしいものを食べたりして、ついお金を使いすぎてしまう。でも、貯めたいけど今しかできないこともしたい
- ・ 最近、「貯蓄から投資へ」とか言われているし、「投資」が大切らしいと話には聞くけれど、なんとなく怖くて手が出せない……
- ・ 還か先だけに、老後を考えてiDeCoとかNISAを始めなきゃと思っている。始めるなら、どっちから始めるべきなのかな
- ・ 結婚したばかりで、子どもも欲しいから、そろそろ本気でお金のことを考えないと
- ・ 子どもが生まれて、きちんとお金を貯めたり増やしたりしたいけど、食費とか洋服とか、旅行とか保険とか、何にどの程度かけていいかわからない

お金の悩みはどこか人生相談につながっているとありますが、「理屈としてはそうかもしれないけど、自分ごととしてどう考えるべきか？」が整理できないと、気持ちが悪くならないのです。

いろんな人がさまざまな角度からアドバイスしてきます。そのうえスマホを見れば、お金に関するたくさんさんの情報があふれています。

しかし、そのなかで「自分なりの答え」を見つけていることが大事だったりします。

私は、ファイナンシャルプランナー（FP）として20年以上活動してきました。確定拠出年金とリタイアメントプランを専門とする一方で、若い世代のためのマネーリテラシー向上や投資教育にも力を入れています。

日本経済新聞電子版やマネー現代、プレジデントオンラインなど、いろんな媒体に月20本ほど、マネー記事を書いたり、年40〜50本くらい講演したりしています。

こうした活動をするなかで感じていたことがあります。

FPの相談では、30〜40年といった長期スパンの人生計画のことを、「ライフプラン」といいます。結婚や出産、マイホームの購入などの大きい出来事や、旅行や引越などのもたまったお金のかかる出来事を想定し、長期のお金の計画を立ててみます。お金の相談にこられた方に、ライフプランを書いてもらうことが、FPの仕事の基本中の基本だったりします。

しかし、私はあまりこのライフプランが好きではありません。ライフプランを立てるといって型にはめてテンプレートにしがちで、それこそ無限に選択肢があることを忘れがちだからです。

何歳で結婚するか、そもそも結婚するかどうか、子どもが生まれるかどうか、子どもの数は何人か、病気をするかどうか、持ち家か賃貸か、親にお金があるかどうか、親の介護が必要かどうか、共働きか専業主婦にするか、正社員共働きでがんばるかパートにするか、それこそたくさん分岐点があります。

そのうえ、数年先の未来が変わることもしばしばです。おひとりさま人生と思っていたら、1年後には結婚などということもありますよね。

多様性の時代とよく言われますが、人生はもともと多様性の宝庫です。

選択肢の積み重ねで、同じ人生はひとつとしてありません。そしてお金の問題もひとりひとり違ってくるものです。

この本では、テンプレートから少し離れて、「自分らしいお金の増やし方」、「自分の人生とお金の最適解」を見つけてほしいと考えています。

自分の価値観を整理し、「自分ならどうするか」を考える

「お金の流れ」を簡単に説明するならば、「稼ぐ」↓「使う」↓「差額を貯金したり投資で上手に増やす」です。

この「お金の流れ」で、最後にお金が残るようにすることは人生において大切なことです。

かといって、毎日コンビニおにぎりだけを食べて、娯楽ゼロで生きていくのもつま

らないものです。バランスよくお金を使って「楽しみ」も手に入れていく必要があります。

それこそ「推しに課金」枠だってあっていいのです。それがあなたに幸福感をもたらしてくれているのなら。

お金は気持ちよく使うことも大切です。

好きなことにお金を使うことは、日常生活で全体としてバランスをとることができていれば十分にアリです。

私は、ときどき「オタクDP」とも名乗っています。ゲーム、アニメ、マンガ好きであり、コミックの蔵書は5000冊以上、コミックレビューのコラム連載ももっていたことがあるほどです。

しかし、日常生活はシンプルです。高いお寿司にも興味がありませんし、ユニクロと無印良品とGAPを組み合わせて服代はリーズナブルにすませていきます。私からすれば服や靴に一点2万円もかけるくらいなら、マンガを20冊買ったほうがいいし幸福感がある、と考えているからです。

こういう優先順位、おそらく普通のお金の本では、あまり認めてくれないでしょうが、この本では、もちろんアリです。

お金の流れはシンプルですが、解決策は人それぞれです。人によって解決策は「転職」だったり「節約」だったり「積立定期預金の設定」だったりします。

節約だって、お金をただ削ればいいというわけではありません。「どこにいくら使うのか」「どこが削りどころか」を自分なりに見極めるプロセスだったりします。

つまり、自分の価値観を整理し、立ち位置を確認し、「自分ならどうするか」を考えて行動することが大切なのです。

お金の悩みを、2×2の4マス図で「見える化」する

そこで本書では自分の価値観を整理し、立ち位置を確認し、どうするかを考えるために、図を活用します。

2×2の4マス図です。

タテ軸とヨコ軸で作る図をマトリックス図といいます。この図でお金の問題を図

解し、解き明かして見るのです。

本書では、各テーマごとに選択肢が2個ある軸を二つ設定し、

- ・ 行動のパターン
- ・ 制度や法律の違い
- ・ 変化の有無

などを見える化してみます。

この4マスの図のいいことの一つは、「避けるべき**選択肢**」「**不合理な行動**」が**シンブル**に見えてくる、ということです。

4つのマス目には、たいていの場合、一つか二つは得ではないことがあります。それがわかれば、賢くない行動、損する選択は避ければよくなります。

2×2の軸の中に「○」「△」「×」のようなマークをつけていることもあります。選択肢が相対的に優劣がついている状態です。この場合は「×」を回避するように心がけてみると読みやすいと思います。できれば「○」の選択肢を選ばないか、自分なりに考えてみてください。

また、「どこを目指して自分を変えていけばいいかわかる」こともメリットです。図の中に「→」を大きく引いていることがあります。左下から右上へ矢印が出ていたら、その方向を目指すのだ、というイメージをもってみてください。

今の自分が左下のマス目にいるのだとしたら、そこから自分のポジションを右上のマス目に変化させればよいのです。こう気づくことができれば、実際に行動を移す意義が明確になりますし、実行する意欲もわいてきます。

お金の悩みが解決の方向へ一歩動き出すはずですよ。

金融経済教育のカギは自分で考える力の養成

2022年度より高校で、金融リテラシーを高めるための金融経済教育が始まりました。マネーの世界でも話題となっています。

お金の知識は、早く学ぶに越したことはありません。消費者金融やリボ払いのクレジットカードの返済に追われるようになって、ようやく借金の仕組みを知るのは遅すぎますし、長期投資による資産運用の力を借りるなら、40〜50代で始めるよりも、20〜30代で早いスタートを切るほうがいいからです。

一方で、「子どもが株に夢中になってどうするのか」というような声も聞かれます。投資についても教える、というニュースをみて心配する人もいます。

実のところ、学校で触れる金融経済教育というのは、お金に関するさまざまな知識を対象としていますし、そもそも論で言えば「家庭科」などの授業で行われるものです。基本テーマを「家計簿」や「家計管理」としつつ、その延長線上に、お金を増やす方法として「投資」や「株」が含まれるイメージです。

自分や家族のお金の問題を理解し、どう乗り越えていくか、自分で考えていく力を養成しようとしているのが金融経済教育の目指すところだと思えます。

今、中高生の授業では、アクティブ・ラーニングということ自分でなりに調べ、考え、結論を出していくプログラムが含まれています。金融経済教育の知識がこれに組み合わされば、今後、10代の若者たちのお金の問題は解消されていくかもしれません。

だとしたら、心配なのはむしろ、すでに社会人になっている若い世代、20〜30代です。そこで、マナーリテラシーを高め、判断能力を上げていかなければならない世代のために本書を書きました。

この本が、お金の悩みをもつあなたが自分らしいお金の増やし方を見つけ、豊かな人生を送る一助になることを祈っています。

2022年10月

山崎俊輔



こんな「お金の悩み」ありませんか??

- ☑ お給料日前には残高がほぼゼロ・・・
- ☑ 推しが愛しすぎて、お金が貯まらない・・・
- ☑ iDeCoやNISAをやらなきゃと思いつつやれてない
- ☑ 貯金したいけど、やりたいこともたくさんあって
- ☑ 家族のために、本気でお金のことを考えたい